

[大安寺収蔵庫]見学レポート

収蔵庫/昭和35年8月～昭和36年5月/意匠設計共(松浦弘二)/構造設計 松本暁/施工 山中工務店/RC造

お宝資料



参考資料

(インターネットより引用)



(インターネットより引用)



南都 大安寺 [真言宗]

(インターネットより引用)

大安寺は、南都七大寺の一つに数えられる古刹である。聖徳太子が平群郡額田部に熊凝道場を創建したことに始まる。百濟大寺、高市大寺、大官大寺と名と所を変え、平城京に移って大安寺となる。奈良時代の大安寺は東西に七重塔がそびえ立ち、887名の学侶を擁する大伽藍を有していた。東大寺に対して、「南大寺」とも称された。南都七大寺のなかでも、七重塔が建っていたのは東大寺と大安寺のみであった。しかし、平安時代以後は徐々に衰退し、寛仁元年(1017年)の火災で主要堂塔を焼失して以後は、かつての隆盛は失われた。現存する大安寺の堂宇はいずれも近世末～近代の再建。大安寺は癒封じの寺として知られ、特に「癒封じささ酒祭り」は全国からの参拝者でにぎわう。

札所: 大和十三仏霊場第13番「虚空蔵菩薩」

: 大和北部八十八ヶ所霊場第1番「十一面観世音菩薩」

: 大和北部八十八ヶ所霊場第2番「馬頭観世音菩薩」(嘶堂)



(インターネットより引用)

旧南大門跡に建つ正門(奥に収蔵庫が見える)



収蔵庫(讃仰殿)





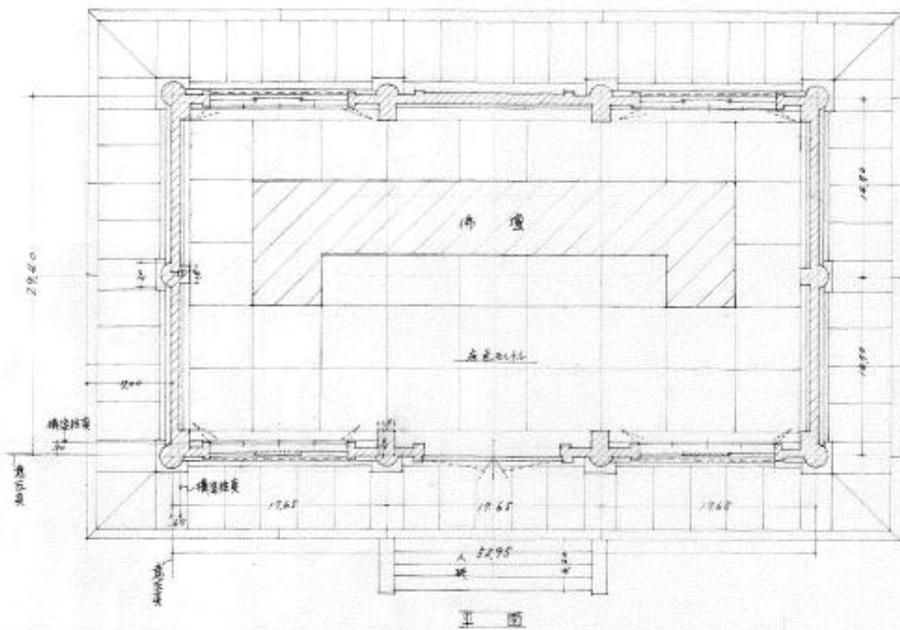




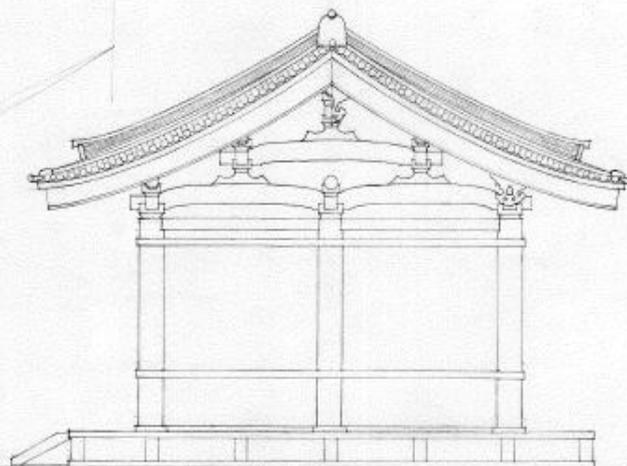
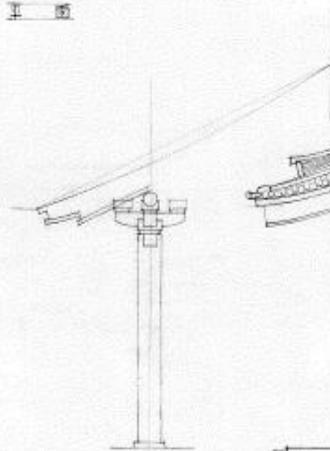
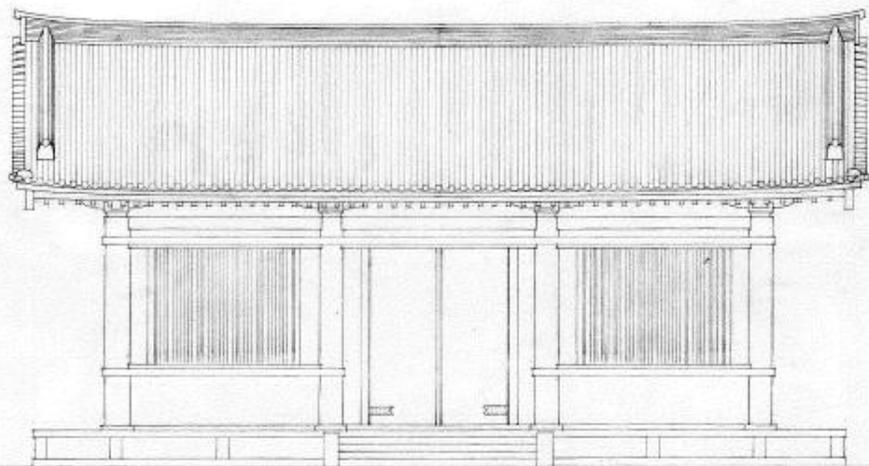




当初案は下記のようなデザインであったが実物は斗栱等が省略されている



大安寺 收藏庫 繪尺志百分の意
圖 010111



正面

側面

年月	西曆	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和35.08	1960	大安寺 収蔵庫	奈良県 奈良市	昭和35.08～36.05	松浦弘二 (意匠設計共)	松本皚	山中工務店	RC造